

櫛ヶ峰・赤埴山・沼ノ平

沼ノ平は、およそ 2500 年前の火山活動によって形成された磐梯山の噴火口です。当時、磐梯山は均整のとれた火山でしたが、山頂が山体崩壊し、幅 1.2 キロ、深さ 350 メートルの噴火口が形成されました。山体崩壊のあと、噴火口は大磐梯（1,816m）、櫛ヶ峰（1,636m）、赤埴山（1,430m）、小磐梯（1,800m）という 4 つの峰に囲まれていました。1888 年の 2 度目の大噴火によって、小磐梯が山体崩壊し、岩なだれが磐梯山の北側山腹を流れ落ちました。こうして有名な五色沼が形成されたのです。現在は 3 つになった峰が火口壁を構成しています。1888 年の噴火は火口壁に噴気孔と呼ばれる無数の穴を作り、そこから火山ガスが噴出しています。